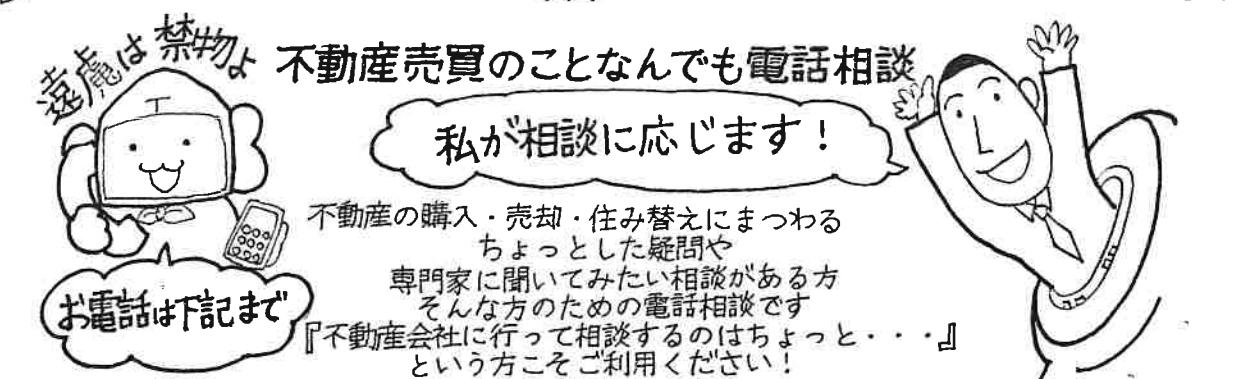


この住み替え通信も約8年前からスタートして一度も休まず、来月号で100号を迎えます！！
続けてこられたのも、お会いした時に『いつも読んできます』『楽しみにしています』と声をかけてくださるお客様のおかげです
そして、いつも手書きで原稿を清書してくれる、戸塚さん役の友人のしぶこ
ありがとう！
ここまで続くと思っていませんでしたが、よく続けてきたなと感慨深い気持ちになります
まだ100号ではないのですが、すっかり100号の挨拶をしてしまいました



戸塚区内の不動産売却専門



戸塚区不動産センター

(社)全日本不動産協会会員 神奈川県知事免許(3)第26744号
(株)エントリー 横浜市戸塚区戸塚町120番 旭ビル301号

お問い合わせは今すぐ!
Eメール・FAXは24時間受付中!!

045-489-7272

E-mail: home@1totsuka.jp 9:00~18:00
FAX: 045-489-7273 火・水曜定休

戸塚区の物件が全部見れる!! 戸塚区物件サーチ

戸塚区不動産センター

www.1totsuka.jp/

○ 戸塚区売却実況レポート
<2020年 7月の状況> <先月比>

売れた土地	15件	+8
売れた新築戸建	19件	+5
売れた中古戸建	15件	+7
売れたマンション	25件	+3

※当社で戸塚区の物件をお探しのお客様

- 土地をお探しのお客様 ... 49組
- 一戸建をお探しのお客様 ... 117組
- マンションをお探しのお客様 ... 136組

戸塚区専門の戸塚不動産センターがお届けする
住み替え通信
第99号

① 今回は一戸建ての売却のお手伝いをさせていただいた
匿名希望様からお声をいただきました

Q 当社に依頼いただくにあたり、不安に思ったこと、気になったことは？
A 売却の条件が悪いところで思い通りに売れるのか、貴社が売却決定まで相談にのってくれるか、安価な物件ということで突然売却できないと断られるかもと用いました
Q 当社に対しての感想をお聞かせください
A 大手の不動産屋と違い、戸塚区専門の不動産であり、私たちの要望を聞いてくれると思いお願いしたところ、思ったとおり熱心に私たちの話を聞いてくれたことと高鳥さんの印象がチラシと同じく良かったです

匿名希望様ありがとうございました
不動産が売り手市場だった昔とは違い、現在のような買い手市場では、少し条件が悪いと、売るのがとても難しくなっています
不動産会社は物件の価格が高いほどもらえる仲介手数料が高くなるので、売るのが難しく安価な物件はあまり積極的にやりたがらないという現実があります
本来は、安価で少し難しい物件の方がプロのサポートが必要なのですが・・・



プロフィール
老舗不動産会社の長男として誕生。大学時代に開発学院大学ラグビー部に所属。レギュラーとして活躍し、大学日本一も経験。卒業後、大手不動産会社に勤務。
現在は初めて家を買う人、見る人が安心できるように情報を提供していくことをモットーに、日々サポートに励んでいる。
実績が評価され、講演依頼や各種マスコミにも取り上げられる。
FMラジオでのパーソナリティ、地元タウン誌「タウンニュース」において不動産のコラムも連載している。





売却講座⑨

『隣人に声をかけてみる』

家を売る時に、隣人が「買ってくれる」というケースは少なからずあります。昔は『隣の土地は借金をしてでも買え』と言っていたくらいで、お隣の人が買う事で土地の価値が上がるといった場合も多くあります。

例えば、

容積率の制約のため、小さな建物しか建てることができない土地がお隣が土地を買う事で、大きな建物が建てられるようになります。

道路と接する間口が狭い土地をお隣の方が買う事で、間口が広くなり全体の土地の価値もアップしたりと

結構、お隣の方もそれを期待していたりすることもあります。

もちろん、

「近所付き合いがありますから、必ず声をかけることは必須ではありますが、関係が良好であれば、売却の意思が決まった時点でぜひ声をかけてみてください」もし隣人が買わなかったとしても、その人の友人や親族や知人が買ってくれるといったケースも多いですから、ぜひ！

土地や一戸建ての場合だけでなく、マンションでも同じようなことがあります。

息子さん、娘さんの住んでいる同じマンションに両親が購入を検討していたり、その逆で、ご両親の住んでいる同じマンションへそのお子さん達が購入するケース

こういうケースを見越して、

不動産会社の販売活動でもこういった近所にチラシなど配布するのは当たり前の販売活動です

「実はこの近所は一番良いお客様かも、なんです



目的を持たない

この頃、便利屋サービスを始めたばかりで今まで直面してこなかった、新しい体験や知識に出会います。新鮮で楽しくもあるのですが、すぐに理解できなかったり、うまくできなかったりとストレスを感じることも多く、もっと楽しみたいのに～ともどかしい毎日です。



なんでストレスに感じるのか？なんでどかしいのか？

考えてみると、うまくやれる自分という理想像があったり、いつまでにこういう状態にしたいという目的があったり、それがうまくいかないからストレスに感じるんだろうな

とわかってきます。
今まで若いころは目的を定めてそれを達成するという生き方がうまく機能していましたが歳をとると同じやり方では、なかなか合わなくなってくることを実感していく
『目的や理想をもつ』ということの弊害の方が大きくなってきています
もちろん仕事では、きちんとプロとして成果を出すのは当たり前なのですがそれ以外の準備やマイペースでできることは意識して目的を持たず、その直面している体験そのものを楽しめるようにならうな



なっていきたいものです。



「オンライン」保護者面談

今日は「ZOOM」デビュー致しました!!!!

コロナの影響で、娘の保護者面談がズームか来校かを選べるようになり、日本オンラインで保護者面談をしました。

私は今まで「直接会う人間関係」が一番大切だと思っていました。

コロナから「オンライン」への社会変化に疑問を感じ、つまらない世の中になるかと思うようになりました。

しかし、今日の保護者面談は想像した以上に「よい」ものでした！

直接会う事全く変わらない、学校までの移動がない、意外と話しやすいなどなど、メリットの多さを実感しました。

私は上半身だけ身綺麗にし、画面の背景は娘にセットしてもらいました。

なぜかディズニー映画の「リメンバーミー」の死者の国での面談となりました。

さすがに死者の国とはまだオンラインでつながっていました。

「オンライン」が変えるのは、「移動」の概念なのかもしれないよ、と思いました。

インターネットが世の中に出てきた時の印象をもとに具体的な可能性として見えてきた気がします。

直接会う、触れる事はもちろん大切なのがますが、仕事上の会議や集会など「そこまでではない」関係は「オンライン」で十分なのかもしれません。

「直接会う事」が特別になる、そんな時代がやってきました。

